

三中だより

令和7年度 4月号



令和7年4月11日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 R7 No.1)
校長 下斗米 八穂

年度の序

春の訪れが、新学期を迎える学校の暦とぴったりと合いました。

学校の窓から見渡せる隅田川の堤の桜が鮮やかに咲き誇る中、荒川区立第三中学校は令和7年度の教育課程をスタートさせました。

こよみ

暦の節目は、目には見えません。

ともすると日々の流れを捉える視点を忘れがちな私たちは、移り行く時の速さに気付いては驚かされます。だからこそ四季の移ろいを大切に感じ、環境の境目を節目として大切にしてきたのではないかと思います。そして、未来に続く道に標を定め、迷わぬように一步を踏み出すのだと思います。

成長著しい中学生はなおさらです。3年間という限られた時間を意義あるものにしてほしいと願い、私たち大人は彼らにメッセージを送ります。この願いに抱かれて伸びる姿こそ、子どもの幸いと思っています。

学校は、地域における学び舎としての使命を果たすべく、最善を尽くします。地域の皆様、そしてご家庭の皆様におかれましても、この汐入の子どもたちを育む温かいご支援を賜りたく、お願い申し上げます。学校の教育活動に関心をもっていただけるよう、今年度も取組をご紹介します発信を継続してまいります。

都度、節目に、是非子どもたちにたくさんの言葉かけをいただけますようお願いいたします。地域・ご家庭の皆様と学校が一緒に子どもに関わり、その支援の連携を深めて進む一年間にしたいと存じます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

挑む勇氣 支える思いやり

年度の始めにあたり、始業式では次のような話をしました。

本日始業式を迎えた皆さん、進級、おめでとうございます。

2学年に進級した皆さんは、明日から先輩になりますね。自分のことだけでいっぱいだったこれまでの1年間とは違って、後輩の気持ちを考えることが求められる場面がでてくることでしょう。

そして最も上の学年に進級した3学年の皆さん。

いよいよこの学校の、顔になりました。学校全体がうまく回っているか、そして卒業後の学校はどうなっていくのかということまで考えて後輩を引っ張ってください。

3年間の中学校生活はあっという間に卒業を迎えます。特に3年生になったら、なおさらです。目を閉じて一呼吸したら卒業式、っていう感じです。

けっして大げさに言っているつもりはありません。

廊下の卒業生のメッセージの中にも、同じような言葉が見られます。

ですから、一日、一瞬を大切に過ごしてほしいと私は思います。

例えば、今こうして新しい学年になった日、この一年間をどのように過ごそうか、と本気で考えてみてください。

昨日や明日ではまた違います。今日という日は今日しかないから、今日感じることは今日しかかみしめられないのです。

一生に一度しかない、年度始めの、2学年・3学年に進級した今日始業式の日考えたことを忘

れずに、今日を本気で生きることが、今を大切にすることの一つです。

さて、進級した皆さんに私から一つのメッセージを送ります。

中学校というのは、自分を磨く場所です。ぜひ、【挑戦】を重ねてください。

【挑戦】とはどのようなことでしょうか。

もう一步前に、もう一つ上に、これが挑戦です。

新しいことに、よりよいものに、これも挑戦です。

今までやってきたことを超えられるように、今までやったことのない新しい景色を見るために積極的に挑戦をしてください。

そしてまた、挑戦をする仲間を大事にして、応援してください。

仲間を支えることで、自分がやりたいものが見つかることもあります。

また、適当ではなく、全力でぶつかったら、完璧な成功ができなくても、次の自分のために残る成果が必ずあります。

そして、挑戦をすると、新しい自分と出会うことができます。

今までやったことのない挑戦をするのですから、感じることも初めてのことばかりです。

知らなかったけれど、自分はこんなことができるんだ、自分はこんなことが楽しいんだ、

もしかしたら、自分に向いていることは、これかもしれない

なんて、新しい発見があったらと思うと、挑戦の先の自分にワクワクできると思いませんか？

新しいことには勇気がいります。でもその勇気の先には成果が待っています。

一人ひとりのちょっとずつの勇気が、教室に、そして学校にたくさん見られるような春になるといいな、と思っています。皆さんを応援します。頑張ってください。

翌日の入学式においても、同様の内容を含む式辞を読ませていただきました。

始業式で各学年の「生徒代表のことば」も決意にあふれた、素晴らしいものでした。

ここでは、入学式で披露された「新入生誓いのことば」の一節を紹介します。

○私は、中学校生活の中で、「目標をもって行動すること」「苦手意識をなくすこと」そして「友達との関わり合いを大切にすること」の三つを大切にしていきたいと思います。

何も考えずにただ過ごしてしまうと、三年間はあっという間に過ぎてしまいます。だからこそ、将来自分がどうありたいかをイメージしながら、そのためには何が必要かを考え、目標をもって努力することを頑張ります。

目標を持つことで、毎日の行動が意味のあるものになり、将来の自分の理想に近づくことができると思います。

また、「苦手意識をなくすこと」に対しても、前向きに行動することを意識します。 ○

これからは、何かを始める前に「できない」と決めつけるのではなく、「どうすればできるようになるか」を考えて行動していきます。失敗を恐れずに、前向きにチャレンジすることで、少しずつでも苦手なことを克服し、成長を感じるとともに、自信もつけていきたいと思っています。

そして、最後に「友達との関わり合い」についてです。 ○

これから始まる集団生活の中では、様々な活動を通じてたくさんの人と出会い、関わる機会が増えます。私は一つ一つの出会いを大切に、友達とお互いに支え合い、助け合っていきたいと思っています。 ○

私は、これらのことを意識しながら、毎日を大切に、目の前のことに一生懸命取り組みながら、楽しく、充実した中学校生活を送り、たくさんの思い出をつくっていくことを誓います。

(○印は中略箇所)

4月7日に始業式を迎えた2学年146人と3学年148人に、4月8日の入学式で124人の1年生が加わりました。全校計418人の生徒は、春の節目に新しい思いを抱き、目を輝かせています。

4月9日、10日の係や委員会を考える時間には、さっそく新しい役職にチャレンジして立候補の挙手をする姿が見られました。「今までやったことがなかったので」と不安ながらも、意欲を見せる生徒もいました。そして、その思いを称え、応援を約束して心のこもった拍手を送る級友がいました。

まだ、始まったばかりです。一步ずつ歩みを進める荒川区立第三中学校の生徒を、どうぞよろしく願いいたします。